



<b>1-1 建物概要</b>		<b>1-2 外観</b>	
建物名称	麻生の郷	階数	3
建設地	東区北39条東1丁目756-25、-43、-44、-63、-84	構造	S造
用途地域	準工業地域・防火指定なし	平均居住人員	50人
建物用途	病院	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
竣工年	2021年1月 予定	評価の段階	実施設計段階評価
敷地面積	1,906㎡	評価の実施日	2020年5月1日
建築面積	775㎡	作成者	
延床面積	2,083㎡	確認日	
		確認者	

「配慮シート」に外観パースを張り付けて下さい。

<b>2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&amp;チャート)</b>		<b>2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)</b>		<b>2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)</b>	
<p>BEE = 0.8 ★★★★★ B-</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>		<p>☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆</p> <p>標準計算</p>			
<p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>		<p><b>2-4 一次エネルギー消費量の評価</b> 建物全体の[BEE][BEIm]= 0.79</p>			

<b>2-5 中項目の評価 (バーチャート)</b>					
Q 環境品質 <b>Qのスコア = 2.5</b>					
<b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 2.6 音環境: 2.6, 温熱環境: 2.0, 光・視環境: 2.5, 空気環境: 3.6		<b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 2.7 機能性: 2.5, 耐用性・信頼性: 2.9, 対応性・更新性: 2.9		<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> Q3のスコア = 2.1 生物環境: 2.0, まちなみ・景観: 2.0, 地域性・アメニティ: 2.5	
LR 環境負荷低減性 <b>LRのスコア = 3.1</b>					
<b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 3.3 建物外皮の熱負荷: 5.0, 自然エネルギー: 3.0, 設備システム効率化: 3.2, 効率的運用: 2.0		<b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 2.9 水資源保護: 3.4, 非再生材料の使用削減: 2.7, 汚染物質回避: 3.3		<b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 3.2 地球温暖化への配慮: 3.7, 地域環境への配慮: 2.8, 周辺環境への配慮: 3.2	

<b>3 設計上の配慮事項</b>		
<b>総合</b> 市条例による緑化は極力沿道に設け、地域に緑環境を提供する。また、日当たりのよい敷地内南側のスペースに「庭」や「菜園コーナー」を設け入居者が緑に触れ合える空間を提供する。		<b>A 省エネルギー</b> 外壁断熱材にはグラスウール24kg品、t=100、窓ガラスにはLow-e複層ガラスを採用しBPI値を抑える。
<b>B 省資源等</b> 内装には更新必要間隔の長い建材を採用する(床: 塩ビシート、壁・天井: ビニルクロス)。また内装壁・天井は「軽鉄+PB」として躯体と容易に分離できる構造とする。	<b>C 緑化</b> 「札幌市緑の保全と創出に関する条例」に基づく緑化を行っている(2m以上~4m未満の樹木32本、芝生205.75㎡)。	<b>D 雪処理</b> 駐車場にはロードヒーティングを採用する。

<b>4 ほかの認証・評価制度の利用</b>			
(財)建築環境・省エネルギー機構のCASBEE認証	なし	BELS認証	なし
上記以外の認証・評価制度の利用		LEED認証	なし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

CASBEE札幌2016(ver.1.4)		■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0						
麻生の郷		欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.4)						
スコアシート		実施設計段階						
配慮項目	重点 評価項目	環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み 係数	評価点	重み 係数			
Q 建築物の環境品質								2.5
Q1 室内環境					0.40		-	2.6
1 音環境				2.6	0.15	2.6	1.00	2.6
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音				3.0	0.40	3.0	0.40	
1 開口部遮音性能				3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能				3.0	0.60	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	3.0	0.20	
1.3 吸音				1.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境				2.0	0.35	2.0	1.00	2.0
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温				3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能	省エネ			3.0	0.25	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式				1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境				2.5	0.25	3.3	1.00	2.5
3.1 昼光利用				2.4	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率			共用部分=1.27%、住居・宿泊部分=1.34%	2.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口					-		-	
3 昼光利用設備	省エネ			3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策				2.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光制御	省エネ			2.0	1.00	3.0	1.00	
2 映り込み対策					-		-	
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境				3.6	0.25	4.0	1.00	3.6
4.1 発生源対策				4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質			内装床・壁・天井・天井裏の建材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を採用している。	4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気				2.0	0.30	4.0	0.38	
1 換気量			住居・宿泊部分にて1.5倍以上の換気量を確保している(1階居室1で計算: 必要換気量 $32.06\text{m}^3 \times 1.5 = 48.09\text{m}^3 < \text{設計換気量}50\text{m}^3$ )	3.0	0.50	5.0	0.33	
2 自然換気性能			有効開口面積が居室床面積の1/15以上確保している(1階居室1で計算: $[AW=1]1.70 \times 1.36 \times 1/2 = 1.156\text{m}^2 > 16.024 \times 1/15 = 1.068$ )		-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理				5.0	0.20		-	
1 CO <sub>2</sub> の監視					-		-	
2 喫煙の制御			全館禁煙とする	5.0	1.00		-	

Q2 サービス性能			0.30	-	-	2.7	
<b>1 機能性</b>			<b>2.5</b>	0.40	<b>3.8</b>	1.00	<b>2.5</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>			<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60	
1	広さ・収納性	個室8㎡以上(15.72~16.02㎡)		-	5.0	1.00	
2	高度情報通信設備対応			-		-	
3	バリアフリー計画		3.0	1.00		-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>			<b>1.0</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.40	
1	広さ感・景観 (天井高)			-	3.0	0.50	
2	リフレッシュスペース			-		-	
3	内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50	
<b>1.3 維持管理</b>			<b>3.5</b>	0.30		-	
1	維持管理に配慮した設計	①②トイレの床・壁は防汚性の高い建材を採用、⑤感知しない範囲1m以上、⑥全面的に塩ビシートを採用、⑦アルミ製品を採用、⑧外構段差は5mm以内。	4.0	0.50		-	
2	維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>			<b>2.9</b>	0.30		-	<b>2.9</b>
<b>2.1 耐震・免震・制震・制振</b>			<b>3.0</b>	0.50		-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-	
2	免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>			<b>3.0</b>	0.30		-	
1	躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源	2.0	0.20		-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源	5.0	0.10		-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源	3.0	0.10		-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源	3.0	0.20		-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	省資源	3.0	0.20		-	
<b>2.4 信頼性</b>			<b>2.6</b>	0.20		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		1.0	0.20		-	
5	通信・情報設備	①LAN配管を設ける、③精密機器は地下へ設けない、④有線電話配管を設ける。	4.0	0.20		-	

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>2.9</b>	0.30	<b>2.0</b>	1.00	<b>2.9</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>2.8</b>	0.30	<b>1.0</b>	0.50	
1 階高のゆとり			2.0	0.60	1.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		[共用部]壁長さ比率=0.267	4.0	0.40	1.0	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40		-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30	-	-	<b>2.1</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>	<b>緑化</b>		<b>2.0</b>	0.30		-	<b>2.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>	<b>緑化</b>		<b>2.0</b>	0.40		-	<b>2.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>2.5</b>	0.30		-	<b>2.5</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	<b>雪処理</b>		<b>3.0</b>	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	<b>省資源 緑化</b>		<b>2.0</b>	0.50		-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-		-	<b>3.1</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	<b>3.3</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>	<b>省エネ</b>	[BPI]=0.65	<b>5.0</b>	0.20		-	<b>5.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>	<b>省エネ</b>		<b>3.0</b>	0.10		-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>	<b>省エネ</b>	[BEI][BEIm] = 0.79 -	<b>3.2</b>	0.50		-	<b>3.2</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>2.0</b>	0.20		-	<b>2.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>2.0</b>	1.00		-	
4.1 モニタリング	<b>省エネ</b>		3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制	<b>省エネ</b>		1.0	0.50		-	
集合住宅の評価				-		-	
4.1 モニタリング	<b>省エネ</b>			-		-	
4.2 運用管理体制	<b>省エネ</b>			-		-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	<b>2.9</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.20		-	<b>3.4</b>
1.1 節水		自動水栓に加えて、節水型便器を採用する。	<b>4.0</b>	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			<b>3.0</b>	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>2.7</b>	0.60		-	<b>2.7</b>
2.1 材料使用量の削減	<b>省資源</b>		2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	<b>省資源</b>		3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	<b>省資源</b>	-	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	<b>省資源</b>	-	1.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	<b>省資源</b>		3.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	<b>省資源</b>	躯体と仕上げ材が容易に分離可能となっている。	4.0	0.20		-	

<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		壁接着剤には「有害物質を含まない材料」を採用する。	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤	省資源		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	省資源		3.0	0.50	-	-	
3 冷媒	省資源		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮	省資源	ライフサイクルCO2排出率=82%	3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止	省資源		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善	省資源 熱化 蓄処理		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	省資源		2.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			2.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制	省資源 蓄処理		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制				-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		①「光害対策ガイドライン」のチェックリスト項目の過半を満たしている、② 広告物照明は行わない。	5.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

# CASBEE札幌



## 重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2016v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2016(ver.1.4)

<b>1 建物概要</b>		BEE	0.8	BEEランク	B <sup>-</sup>
建物名称	麻生の郷				
建物用途	病院.				
延床面積	2,082.5 m <sup>2</sup>				

**2 重点項目への取り組み**

地球温暖化対策	<b>最重点項目</b> <b>省エネルギー</b>	★★★★★
	<b>省資源等</b>	★★★☆☆
	<b>緑化</b>	★★★☆☆
	<b>雪処理</b>	★★★★☆

**レーダーチャート**

省エネルギー性能  
5.0  
4.0  
3.0  
2.0  
1.0  
0.0

雪処理 省資源等への取組 緑化への取組

★1=スコア(最低点~最高点)20%以下  
★2=スコア(最低点~最高点)20%~40%以下  
★3=スコア(最低点~最高点)40%~60%以下  
★4=スコア(最低点~最高点)60%~80%以下  
★5=スコア(最低点~最高点)80%以上

**3. 重点項目のCASBEEスコア**

A 省エネルギー ( 最高点 23.1 最低点 6.6 )		合計 14.8点 /23.1点	
Q1 温熱環境	スコア 0.6 /1.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア 4.0 /4.0
Q1 光・視環境	スコア 1.0 /2.1	LR1 自然エネルギー利用	スコア 1.2 /2.0
		LR1 設備システムの高効率化	スコア 6.4 /10.0
		LR1 効率的運用	スコア 1.6 /4.0
B 省資源等 ( 最高点 23.7 最低点 7.7 )		合計 14.0点 /23.7点	
Q2 耐用性・信頼性	スコア 0.6 /1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア 4.9 /9.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.9 /2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア 1.3 /1.9
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア 3.7 /5.0
		LR3 地域環境への配慮	スコア 2.6 /4.4
C 緑化 ( 最高点 15.3 最低点 3.1 )		合計 6.6点 /15.3点	
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 1.8 /4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.5 /2.5
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 2.4 /6.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.9 /2.3		
D 雪処理 ( 最高点 3.0 最低点 0 )		合計 1.0点 /3.0点	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.0 /1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0 /2.0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■重点項目の**最高点**は、各評価項目で**レベル5**で評価された場合の点数  
 ■重点項目の**最低点**は、各評価項目で**レベル1**で評価された場合の点数